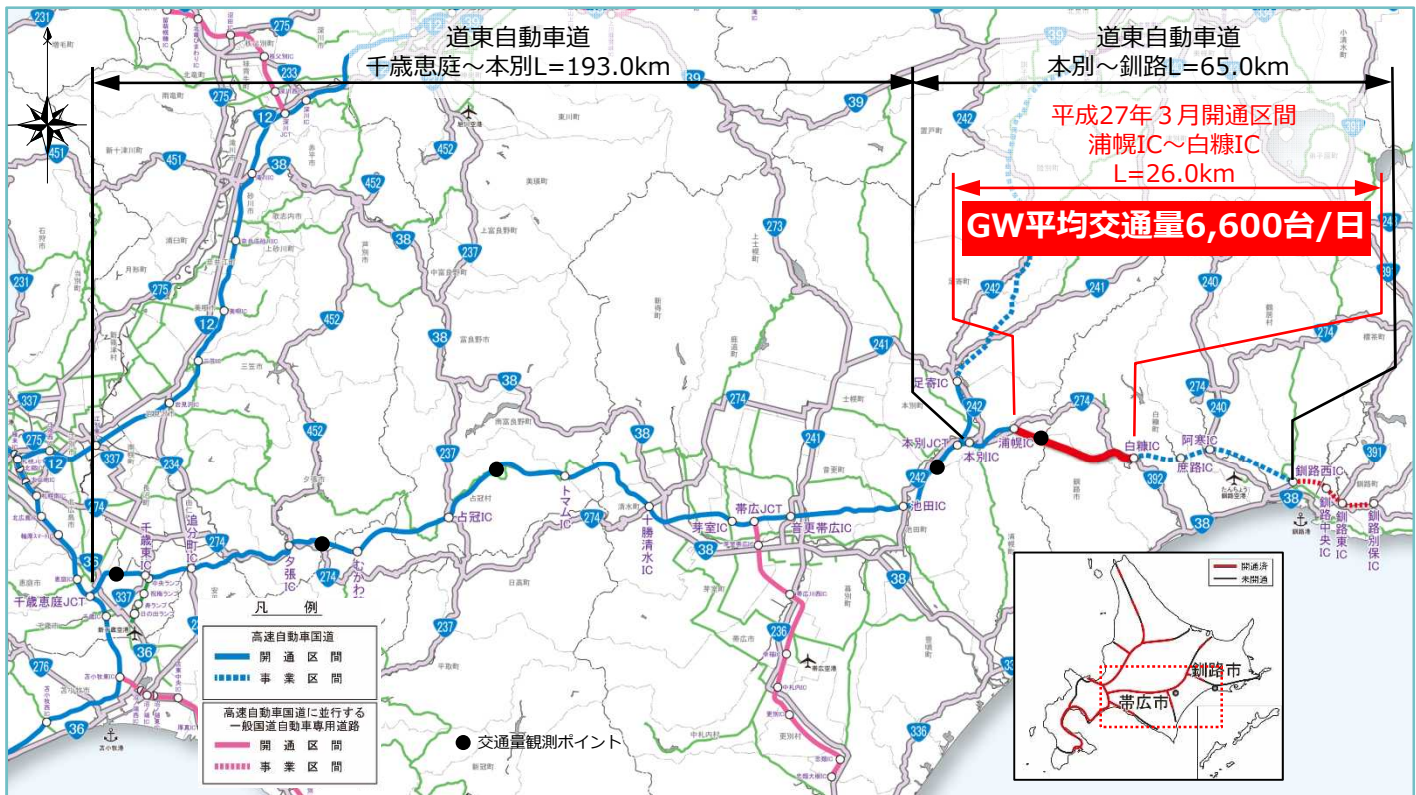


道東自動車道の利用が全区間で増えました

- ゴールデンウィーク期間中は日平均交通量で約6,600台に利用されました。
- これまでに開通した区間の交通量も道東道の延伸に伴い増加傾向にあります。

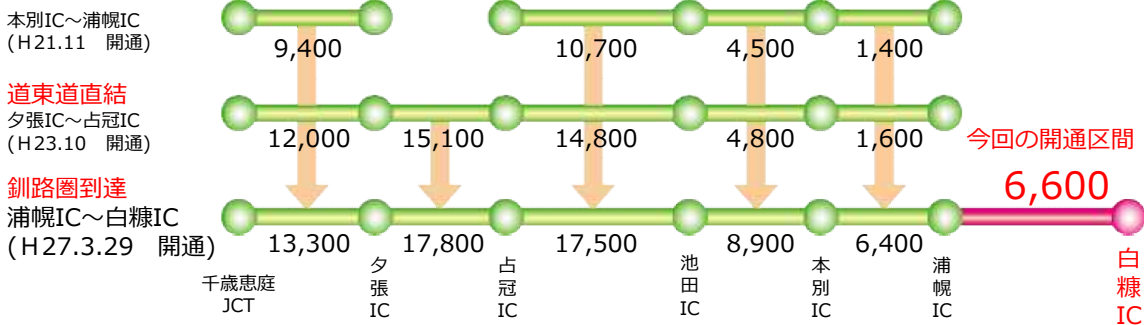


▼ GW期間中の交通状況



道東自動車道 白糠町南上茶路(H27.5.3)

▼ GW期間中の交通量推移

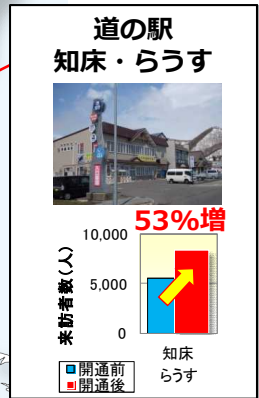
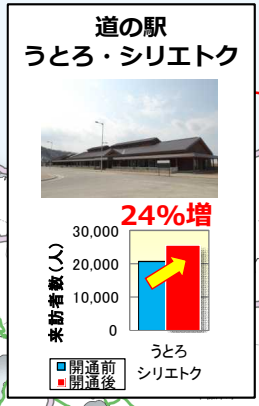
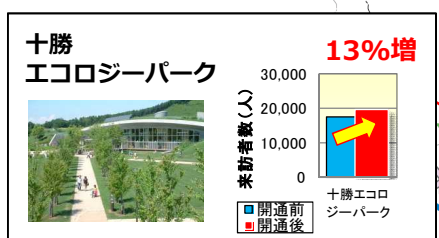
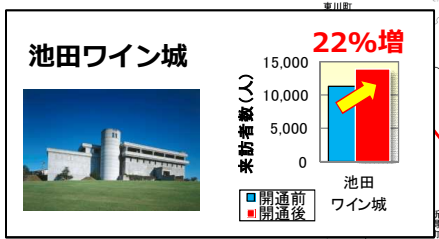
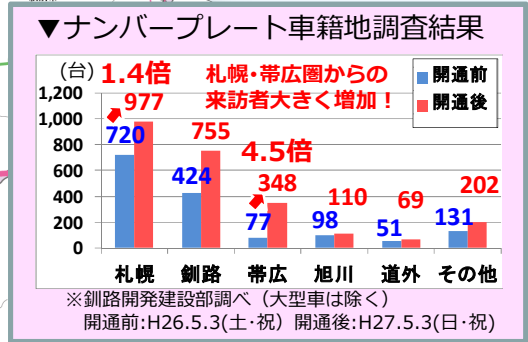


※交通量は釧路開発建設部調べによる
 ※千歳恵庭JCT～本別IC交通量は東日本高速道路(株)提供
 ※GW平均交通量は、
 開通前 H22.5.1～5.5の祝・休日平均
 開通前 H24.5.3～5.6の祝・休日平均
 開通後 H27.5.2～5.6の祝・休日平均

釧路・根室地域の観光入込客数が大幅に増加しました

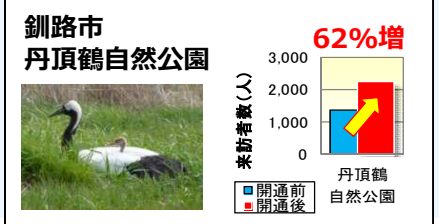
- 開通を契機に十勝圏・釧路根室圏のGW期間中の入込客数は、増加しています。
- 圏域別では、釧路圏へは、札幌圏・帯広圏からの来訪者が増加しています。
- 釧路圏を中心に広域に観光客は増加しており、周遊観光の活性化が見られています。

道東のGW期間中の入込客状況



北海道横断自動車道 根室線
本別～釧路 L=65.0km

浦幌IC～白糠IC L=26.0km



※開通前: H26.5.1~6
開通後: H27.5.1~6

資料: 釧路観光コンベンション協会
釧路市阿寒行政センター
道の駅阿寒丹頂の里
白糠町経済部経済課
道の駅うとろ・シリエトク
道の駅知床・らうす
音更町商工観光課
池田町ブドウ・ブドウ酒研究所営業課

凡例
■: 白糠ICから1時間移動圏内

○十勝・釧路圏の新たな輸送ルートが形成され、輸送時間の短縮による物流効率化の効果の聲が挙がっています。今後の物流コストの削減が期待されます。

十勝圏の物流変化の一例



物流事業者の声（背高コンテナ輸送）

- これまでは、国道38号浦幌町内の3トンネルにおいて背高コンテナ積載トレーラが走行できませんでしたが、道東道経由とすることで問題が解消しました。
- さらには、時間短縮が図られること、無料の高規格道路であることから十勝圏の荷主様に釧路港利用での本州輸送を積極的に営業出来るようになりました。

物流事業者の声（木材チップ輸送）

- 足寄町上利別～釧路市間の木材チップの輸送はこれまでR240阿寒湖経由のルートを利用していましたが、開通後は道東道を利用し、輸送時間は片道30分以上短縮されました。
- 阿寒ICまで開通されれば、更に20分短縮されると見込まれ、今後の延伸についても大いに期待しています。

物流事業者の声（飼料輸送）

- 釧路港に陸揚げされた飼料原料を十勝圏の飼料工場に年間輸送していますが、これまでは釧路～十勝間を1日2回転させるのが精一杯でした。
- 燃料消費量も13%低減でき、環境保全にも寄与しています。

官民一体で地域活性化に取り組んでいます

- 地域では道東道の開通を契機に、更なる観光入込増加が期待されています。
- 今年度、開通が予定されている阿寒IC周辺地域では、道の駅「阿寒丹頂の里」のリニューアルによる地域活性化を目的とした「丹頂の里プロジェクト委員会」を設立し、新たな施設の設置・改装など、観光客の受入体制づくりが官民協働で進められています。

位置図



阿寒湖温泉地区

道の駅 阿寒丹頂の里
赤いベレー
阿寒国際ツルセンター
阿寒自然休養村野営場

▼開通前後の道の駅の入込状況



施設機能再編の概要

▼完成予想図（現時点イメージ）



- ◇インフォメーションセンター設置
- ◇Wi-Fi等のネットワーク整備
- ◇憩いの場の設置
- ◇物産館の改装及びその他設備の更新
 - ・地元食材をメインとしたフードの提供
 - ・地元特産物の提供等を計画中

丹頂の里プロジェクト委員会

< 構成メンバー >

- ・阿寒町商工会
- ・阿寒農業協同組合
- ・阿寒地区連合町会
- ・釧路空港ビル
- ・阿寒町観光振興公社
- ・温泉事業者
- ・釧路市動物園
- ・建設会社 等